



この度は建築業(土木工事・舗装工事)を営んでいる「有限会社 サノケン」様取材してきました。創業は平成10年5月、今年で16年目を迎えます。代表取締役は 佐野 尚樹 様で、職員が7名、作業員が10名の17名で作業を行っています。今回は、佐野社長との会話の中で色々質問をしてみました。

Q1 現在に至るまでの過程はどうでしたか？

A1 「札幌の会社を退社し、20歳で千歳に住居を移しS建設に修業のつもりで勤務致しました。それからの5年間はがむしゃらに働いた事が昨日の事の様に思い出されます。

右も左も解らず、汗を流した日々が続きまして、16年間務めさせて頂きました。その後仲間と共に平成10年に独立しまして、あれから16年の月日が経ちました。厳しい時代を気力で乗り越えた時期でもありました。」

Q2 現状はどのような状況ですか？

A2 「資材等の高騰や、他社との競い合いあり以前から比べて厳しい状況ではあります。屋外での作業のため、北海道が冬の時期にあたる1月～3月の期間は、本州に出張して仕事をしています。舗装工事を主として働いていますので道内でも道外でも需要があれば出来るだけお手伝いしたいと思います。」

Q3 今後の展開としては？

A3 「今日に至るまで細々とコツコツとお客様から仕事を頂いて、現在に至っております。これからも仕事に対する姿勢は、16年前と変わらない気持ちで進んでいく次第です。ここまで継続出来たのは、お客様と社員に恵まれて今があると感じています。社長として今はとても幸せです。今後も相変わらずの御配慮をお願いします。」



〒066-0008 千歳市根志越579-17

有限会社 サノケン

代表取締役 佐野 尚樹

TEL 0123-27-4693 FAX 0123-27-4694

◀ 営業第一グループ : 佐藤 ▶



「書く」ことで想い出を

ある時、信濃にある手作り雑貨のあつまるカフェ「R-flow」のスタッフの方より文房具について相談があるのですが、と連絡をいただきました。

3月に「家族日記」作成のイベントを開催するので、それに必要な物を取り揃えたいとのことです。

講師はカフェのフードコーディネーターで、追分に窯を持つ陶芸家でもある本多ゆきえさん。ママになるのを機に子供に残せる「家族日記」をつけ始めたとのこと。

「デジタル」の世ではありますが「アナログ」かもしれないけど「私しか、私だから」の手書きの日記。

皆さんとの交流や家族との「絆」を作る機会をとイベントを開催し、いろいろな形で継続しながら進めていくとのこと。

文具大好きゆきえママはとても詳しく、相談いただいた商品も十分熟知しており、そして何よりパワフル。1歳になるお嬢さんを背負って夢いっぱい話す姿に驚きとワクワクを感じました。

絵が苦手でも、字を書くのが苦手でもできる裏ワザ伝授のたのしい時間になるよう準備に忙しくしていますがいつも夢いっぱいの笑顔です。

出張講座も行うようです。

ちょっと覗いてみませんか。

※本多さんの陶芸作品。パンダにほっこりします。
実は彼女、デジタルもこなせるオールラウンドプレーヤーです・・・

◀ 営業第一グループ : 小泉 ▶



↑ 本多さんの「家族日記」



社内の
出来事

祝還暦

2月の誕生日で還暦(60歳)を迎えた社員に、一同でお祝いをしました。
一応 定年退職ですが、引き続き 嘱託職員として1年間 一緒に働きます!

平成元年10月1日に入社。入社当時は正直『(この会社には)3年もないかもしれない?』と思っていたのですが、何だかんだで26年。入社の際の面接の時にお茶を出してくれた優しい女性社員が入社してみたら実は恐かった(失礼な!仕事に厳しいって事です!)とか、入社1週間で参加した函館旅行では電車で隣の席が青木部長(当時)ですと緊張しながら話したとか、年下の男性社員が『グッチ』っていう呼び名を付けてくれた…など 数えきれないほどのエピソードがあります。倉庫一筋から一転して、定年間際には配送にも出るようになり、体がきつい時もありましたが、

まだまだ
現役!

配送先のお客様たちとの楽しい会話が元気をくれました。いろいろな事がありましたが、無事に定年を迎える事ができました。

(談:西道口)

長い間、お疲れ様でした。西道口の存在は大きいデス。体は無理をせず 引き続きこれからも、時には厳しく時には優しく(笑)ご指導ください。宜しくお願いします。



2月16日で60歳
西道口 光昭です。



もちろん これからも 大事な仲間 デス

KOKUYO ひらめき・ほがどり・こちよき ノビータαシリーズ



名刺のアナログ整理とデジタル管理が思いのまま

名刺ファイル & 名刺ブック

メイ-NF10(本体価格 350円)メイ-NT20(本体価格 1100円)
最大200枚収納でき、単品でも使用できる超薄型の名刺ファイル。6色のファイルは会社別・グループ別の分類に便利です。名刺ブックにはそれを最大6冊まで追加でき、組み替えも自由。いつでもスッキリ収納できます。加えて、専用アプリでデジタル管理も可能です。

手もとで撮ってすぐ添付! カメラ付マウス CMS10

昨年のオータムフェスタでは『マウス型スキャナ』が人気でしたが、キングジムから今度は『カメラ付マウス』が発売されました。撮影した画像のメール添付や文書への貼り付けがあつというんです!



<本体価格>
4,000円
(税別)

KING JIM

MY FAVORITE わたしの好きなの

不定期に、いろんなメンバーが、いろんな趣味について語ります…
今回は 田中 が熱く語っております!

「舟木一夫が だいすきです。」

50代以下の人は全く興味が無いが、誰それという人がほとんどだと思ってるので、60代以上の人对象にお話しさせていただきます。

私は「舟木一夫」が大好きです。

昭和38年デビューで去年50周年コンサートを全国津々浦々で開催しました。

橋幸夫、西郷輝彦とともに「御三家」と呼ばれ、学園3部作の「高校3年生」「学園広場」

「仲間たち」純愛3部作の「絶唱」「夕笛」「残雪」その他 数多くのヒット曲と、

歌とともにその題名で作られた30本以上の主演映画などなど現代アイドル「AKB48」など

足元にも及ばないほどの人気と活躍でした。

私がちょうど8歳の時に「高校3年生」でデビューしたのですがその頃はやっとテレビが

家庭に1台普及した頃なので、いつのまにかファンになり50年たってしまいました。

私の自慢は、カラオケで「高校3年生」は歌詞カードを見ないで3番まで歌える事です。

死ぬまで舟木一夫のファンでいます。

この文章を読んで、もしファンの方いましたら

カラオケで「舟木一夫の歌」を一緒にいっぱい歌いましょう。



インフルエンザが猛威をふるっていますネ…。弊社でも、家族が罹患したり本人が罹患したり。(ちなみに社内第一号は社長!)
うがい・手洗い・マスクなどで予防することが大切ですが、気をつけていても罹患する時はしますのです、その時にはウィルスを拡散させない注意と、早く治す為に、しっかりと休養を…!

発行元 : (株) カミノ
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381
E-mail : kamino@kamino.co.jp
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)